

概要版

第2期 高知県地域福祉活動支援計画

2024(令和6)年度▶▶▶2027(令和9)年度



つなげる つながる こうちのミライ



2024(令和6)年3月
社会福祉法人高知県社会福祉協議会

県策定の「地域福祉支援計画」と一体となって、「市町村地域福祉活動計画」の推進を支援するための計画であり、市町村社協をはじめとする様々な関係機関や団体などが連携・協働して取り組む地域福祉活動への支援を通して、**県下全域で地域共生社会の実現が図られるように、高知県社協の支援の方向性を定めた計画**として策定しています。

計画の目的



誰もが安心して暮らせる
持続可能な地域づくり



関係機関や団体などとの
連携体制の強化



市町村及び市町村社協
への効果的な支援

地域社会を取り巻く現状

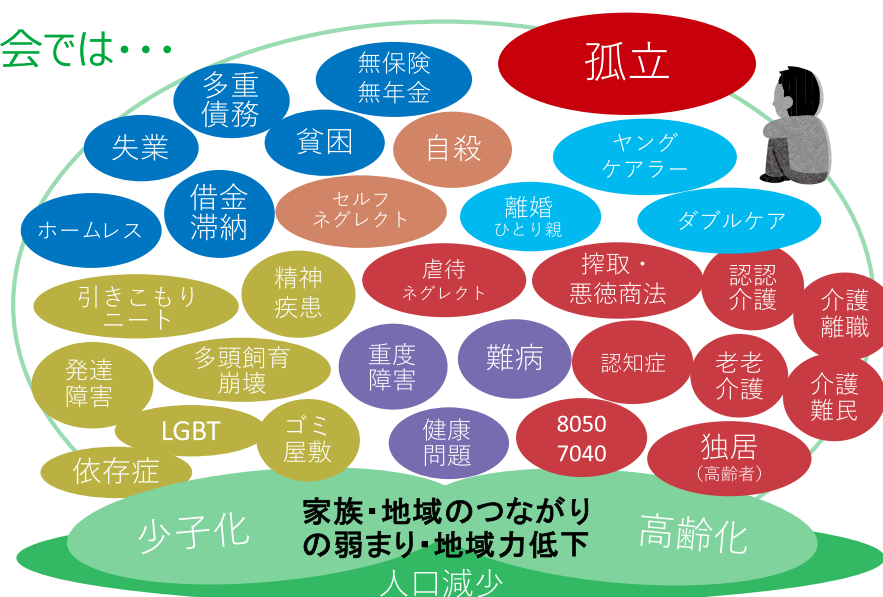
人口減少・少子高齢化社会
の進行による支え合い機能
の低下や地域活動の減少

他県に先行した人口減少や少子高齢化の進行による、人と人のつながりの希薄化や家族間の絆などの支え合い機能の弱まりに伴い、地域活動の担い手が減少するとともに、地域のつながりを維持してきた小地域単位での集いなどの地域活動も減少

社会経済情勢等の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大等に伴う社会経済情勢の変化に加えて、地域活動への参画に対する住民意識が変化

今の地域社会では・・・



⇒家族や地域の支え合い機能が弱まり、様々な課題が顕在化！

大目標

誰もが安心して暮らし続けることができる地域共生社会の実現に向け、**「地域の実情に即応した仕組みづくり」**を進めます。

第1期計画の取組から見えてきた課題

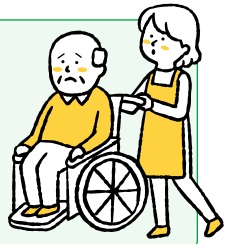
福祉教育の推進

地域福祉の基盤となる、
地域での学びを通じた
福祉教育の推進体制づくり



災害福祉支援活動の 迅速な展開

南海トラフ地震等に備えた災害福
祉支援活動の体制強化の必要性



市町村における包括的支援体制の強化

相談を包括的に受け止め、必要
な機関につなぎ、課題解決につ
なげる連携体制づくりと、人と
人とがつながり支え合う地域づ
くりの一体的な取組の推進



福祉人材の確保・育成・定着

多様な働き方を踏まえた福祉人
材の確保や、体系的・計画的な
研修を通じた育成と定着に取り
組むとともに、福祉職場への理
解促進に取り組む必要性



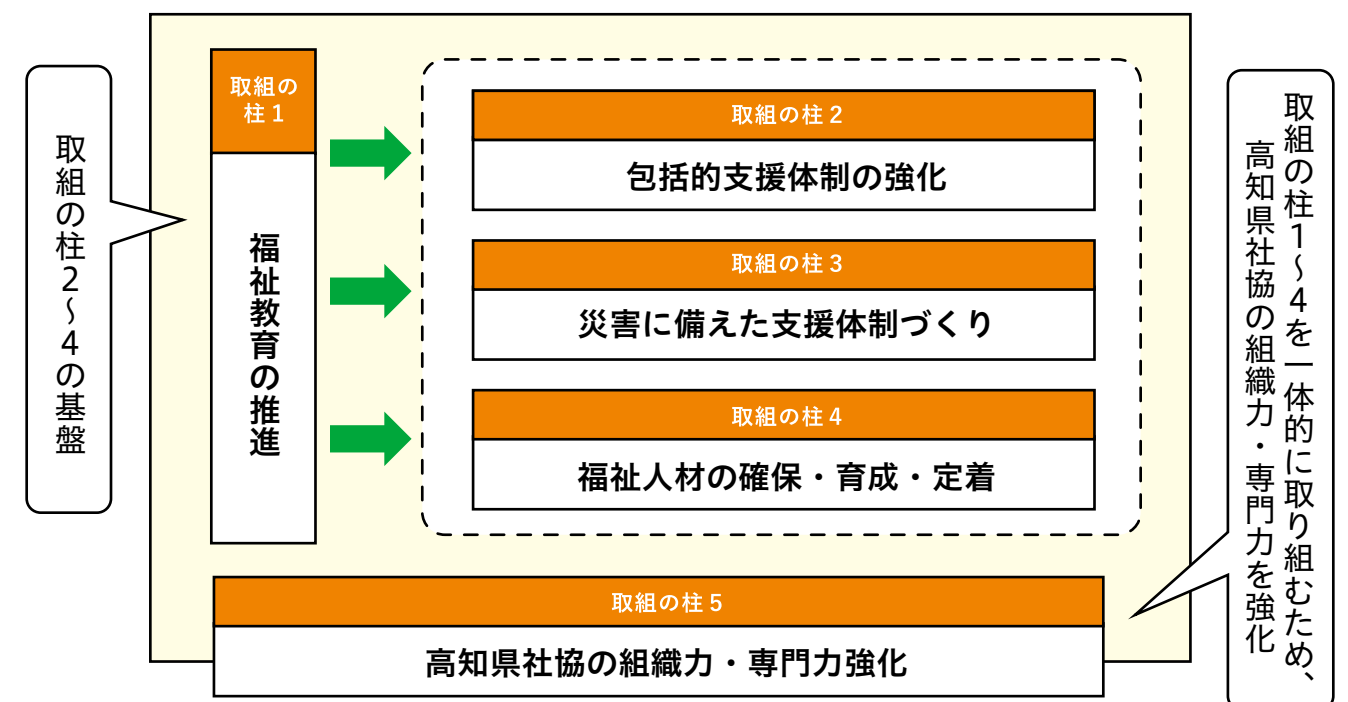
高知県社協の組織力・専門力の強化

県域における「連携・協働の中核」としての役割を果たすための
体系的・計画的な職員育成と部署間連携の強化の必要性



第2期計画では、新型コロナウイルス感染症等の影響による社会的な孤立リスクや生活困窮者への支援の増大、さらには急速に進展する情報通信社会への対応などといった新たな事象を検討課題として加えたうえで、第1期計画の取組から見えてきた課題に対応していくため、5つの取組の柱を設定しました。

5つの取組の柱と解決すべき課題の全体構成



取組の柱1 地域における福祉教育の推進

解決すべき課題

- ①福祉教育・ボランティア学習、地域での学びを通じた地域福祉活動の担い手づくり

目標

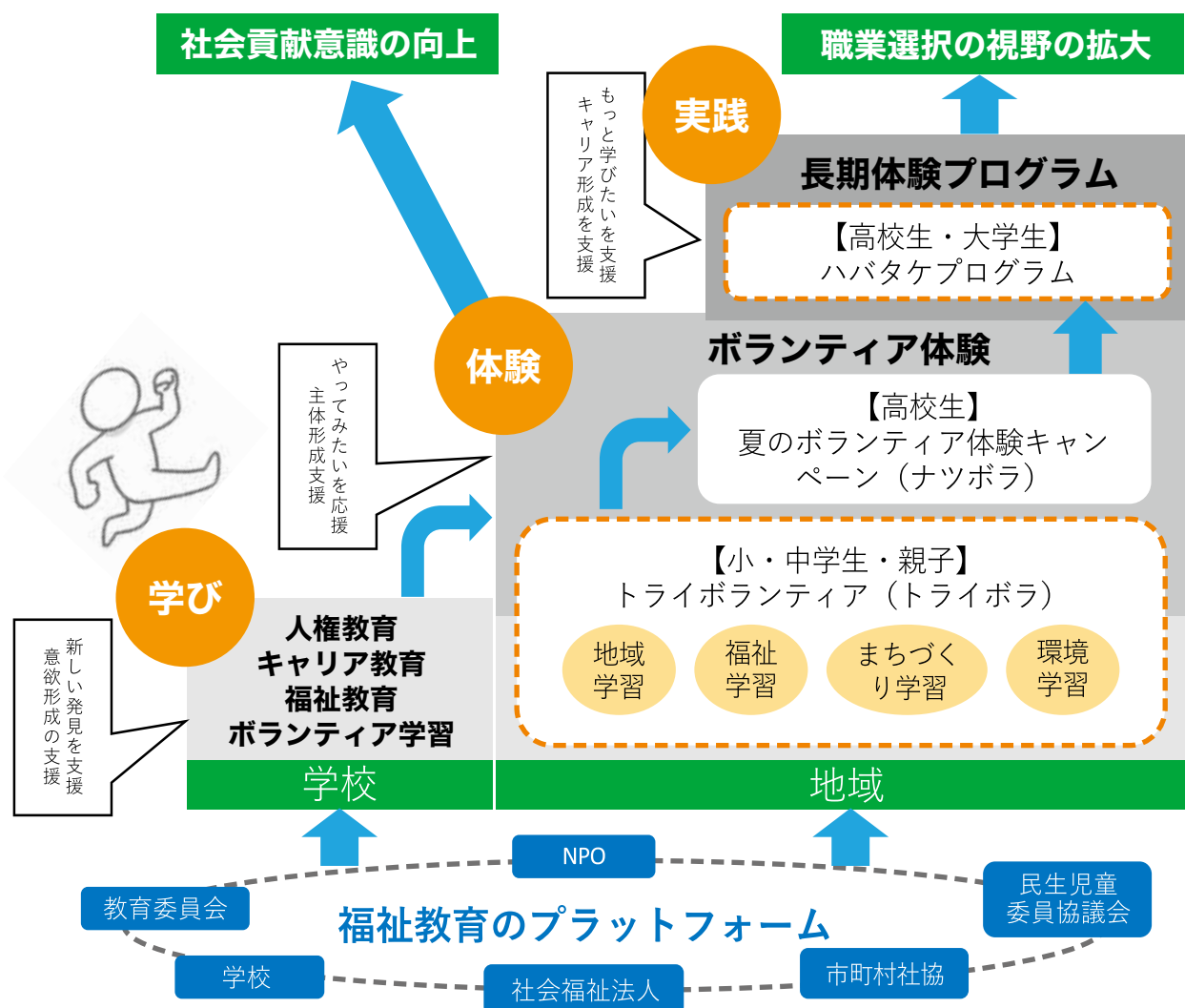
- ①各市町村で行われる福祉教育・ボランティア学習における関係機関との協同実践の拡大

高知県社協の取組 ※取組の一部を掲載しています。

- ・福祉教育に関するプラットフォームの創出や新たな福祉教育のプログラムづくり
- ・福祉教育を実践できる人材の育成やプログラムづくりなどへの支援
- ・「ナツボラ」や「トライボラ」を通じた子ども達のボランティア体験の場づくり



福祉教育の更なる展開に向けた取り組み



取組の柱2 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の強化

解決すべき課題

- ①誰もが役割を持ちながら支え合える地域づくり
②地域生活課題に対応するための総合相談体制づくり
③社会・経済情勢の変化に対応した生活困窮者に対する支援強化
④行政や専門職、地域住民などが連携・協働して進める権利擁護の体制づくり

目標

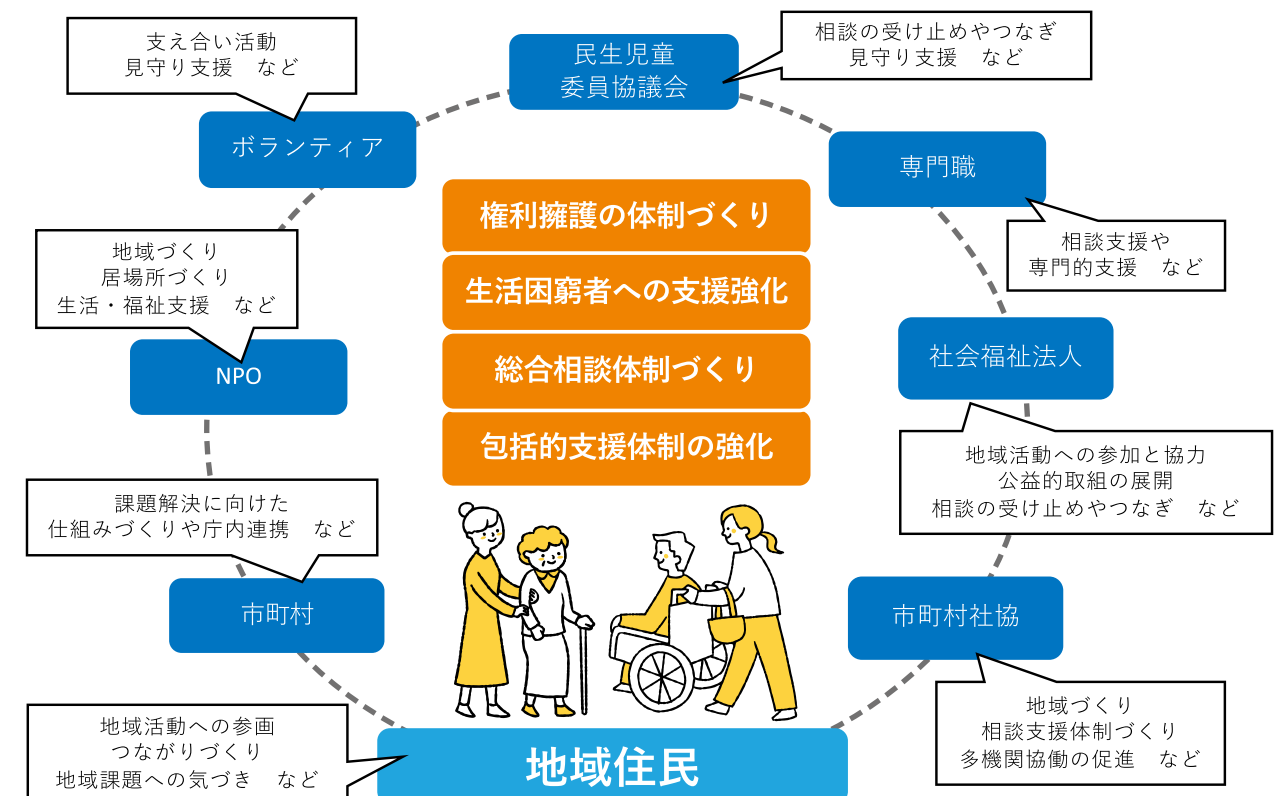
- ①コミュニティソーシャルワーカーの養成や配置を通じた、地域における支え合い活動の展開と社会資源の創出
②地域住民が抱える地域生活課題を早期に発見できる仕組みを構築し、一人ひとりのニーズに対応した支援活動の展開
③生活福祉資金特例貸付の借受人等をはじめとする生活困窮者に対する多機関連携による支援体制の構築
④市町村において地域連携ネットワークと中核機関を中心とした、総合的な権利擁護支援の体制づくり

高知県社協の取組 ※取組の一部を掲載しています。

- ・コミュニティソーシャルワーク機能を発揮できる人材の育成を通じた実践力の向上
- ・重層的支援体制整備事業の導入支援や市町村の実情に応じた体制づくりの支援
- ・生活困窮者支援と生活福祉資金特例貸付の償還支援の取組の連携強化による借受人に対するフォローアップ支援の充実
- ・市町村の総合的な権利擁護支援体制の整備に向けた後方支援



住民を中心とする地域連携の目指す姿



取組の柱3 南海トラフ地震等の災害に備えた支援体制づくり



解決すべき課題

①迅速かつ広域的な災害福祉支援活動の展開に向けた体制強化

目標

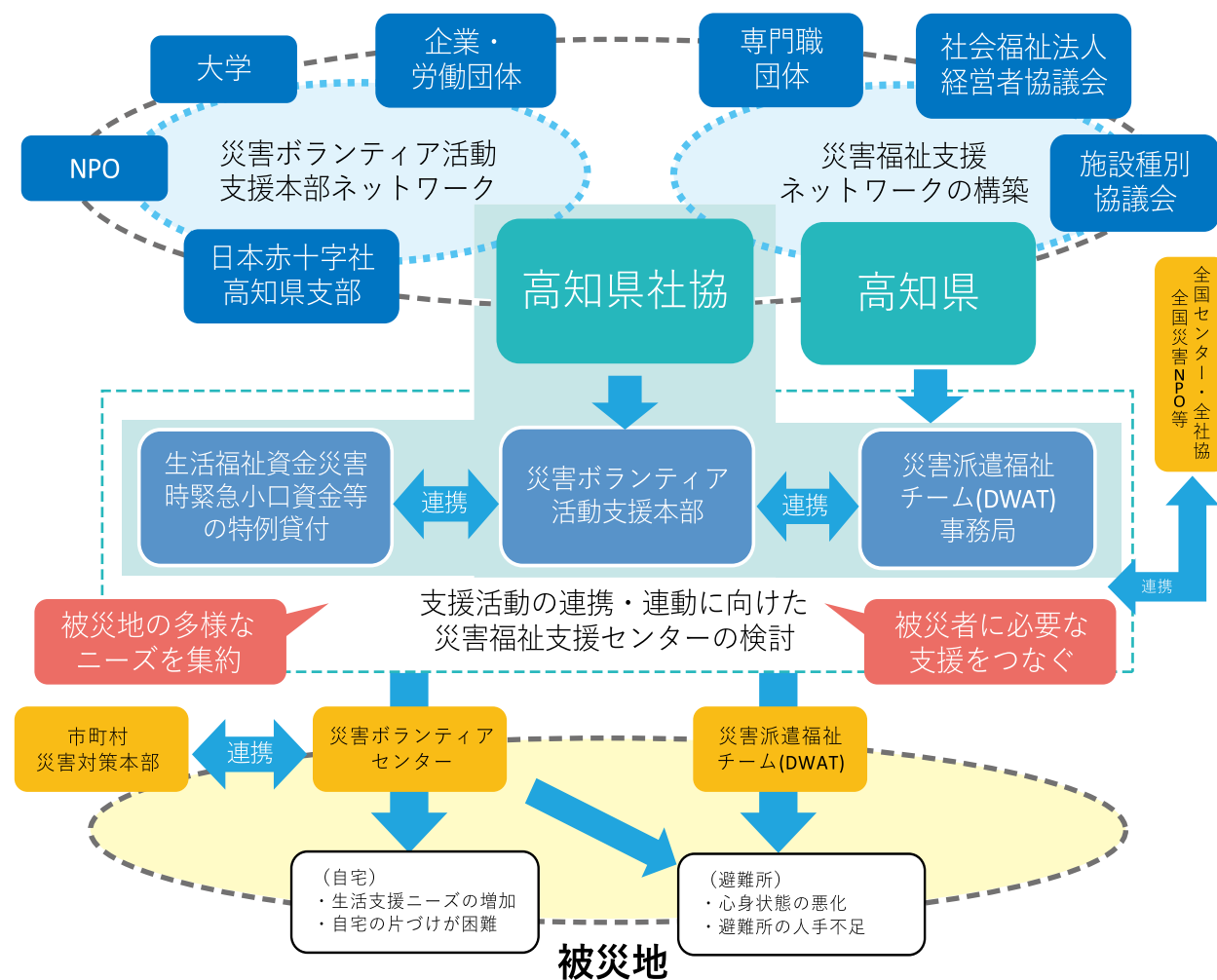
①災害ボランティアセンター及びDWA T(災害派遣福祉チーム)等が行う災害福祉支援活動を効果的に実施するための関係機関との連携体制の構築

高知県社協の取組

※取組の一部を掲載しています。

- ・大規模災害時等における相互支援及び広域連携に向けた体制の整備
- ・災害ボランティアセンターの設置・運営やDWA T派遣等の災害福祉支援活動に従事する職員に対する研修内容の充実・強化
- ・災害福祉支援センターの設置に向けた検討

災害に備えた防災・復旧・復興の支援体制づくり



取組の柱4 あらゆる福祉人材の確保・育成・定着と質の向上



解決すべき課題

- ①多様な働き方を踏まえた福祉人材の確保と定着促進
- ②福祉人材に対する計画的・体系的な研修の実施
- ③福祉職への理解促進

目標

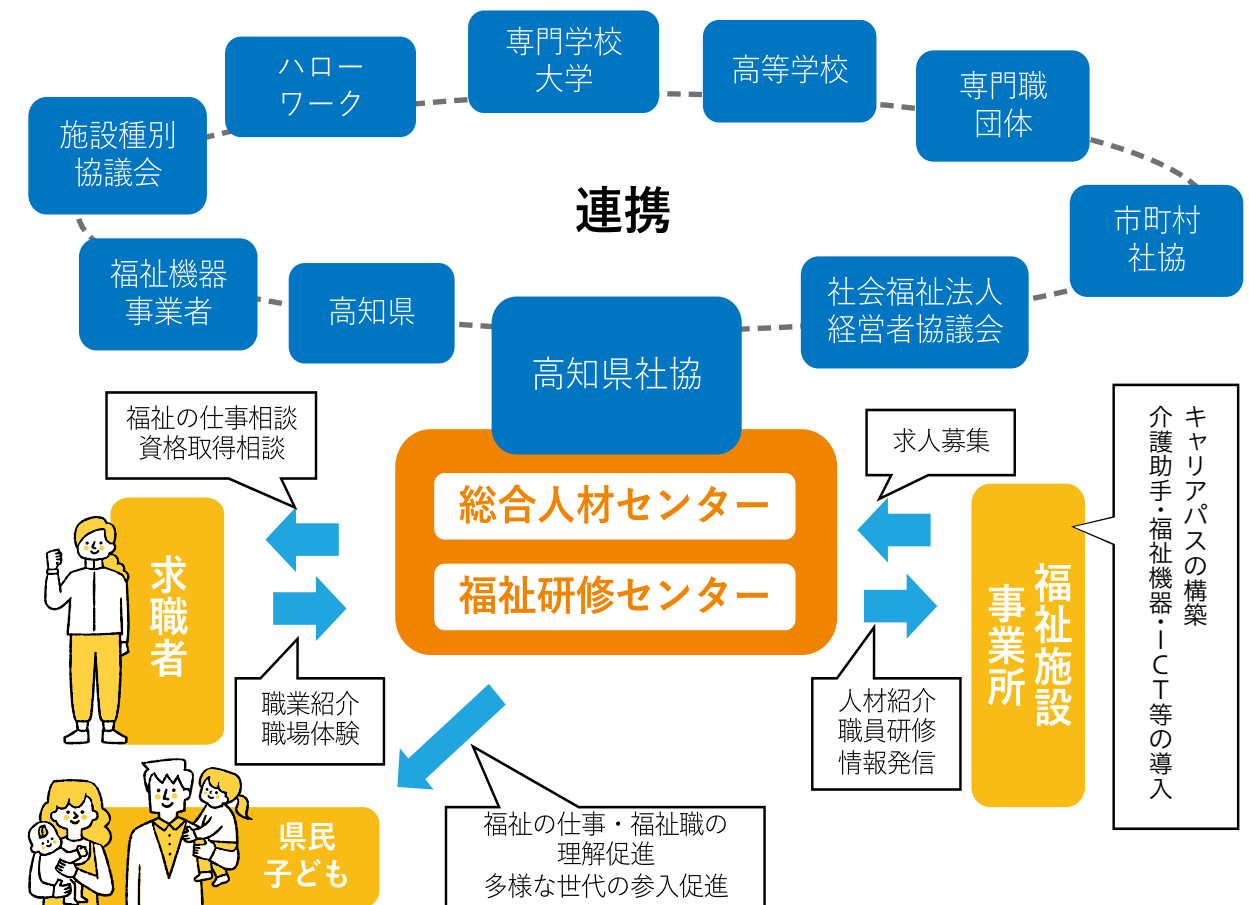
- ①多様な人材の参入を促進するとともに、福祉職場の働きやすい環境づくりを支援し、就職件数を拡大
- ②福祉研修実施機関との連携を強化し、福祉人材のキャリアパス構築を支援する研修体系の再構築
- ③福祉機関と教育機関の連携強化による福祉教育の充実を通じた福祉職の理解の拡大

高知県社協の取組

※取組の一部を掲載しています。

- ・多様な人材の参入促進と福祉職場の働きやすい環境づくりの支援
- ・福祉人材のキャリアパス構築を支援する研修体系の充実・強化
- ・福祉教育の充実を通じた福祉職場への理解促進

福祉職場で活躍する人材の確保・育成・定着と質の向上



取組の柱5 高知県社協の組織力・専門力の強化

解決すべき課題

- ①体系的・計画的な職員育成
- ②各部署のチーム力向上と
部署間連携の強化

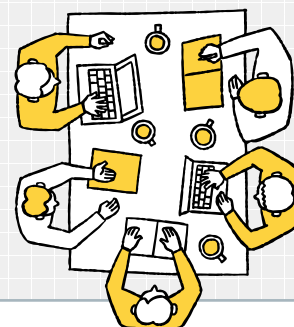
目 標

- ①高知県社協職員が求められる役割に対応できる
人材育成制度の再構築
- ②後方支援力の強化に向けた各部署のチーム力の向上と
部署間連携の仕組みの構築

高知県社協の取組

※取組の一部を掲載しています。

- ・業務評価のシステム化や人材育成制度の検討と実施
- ・チーム力の向上や部署間連携に有効な取組、ツールの検討
- ・ICT化やデジタル技術の導入に向けた検討

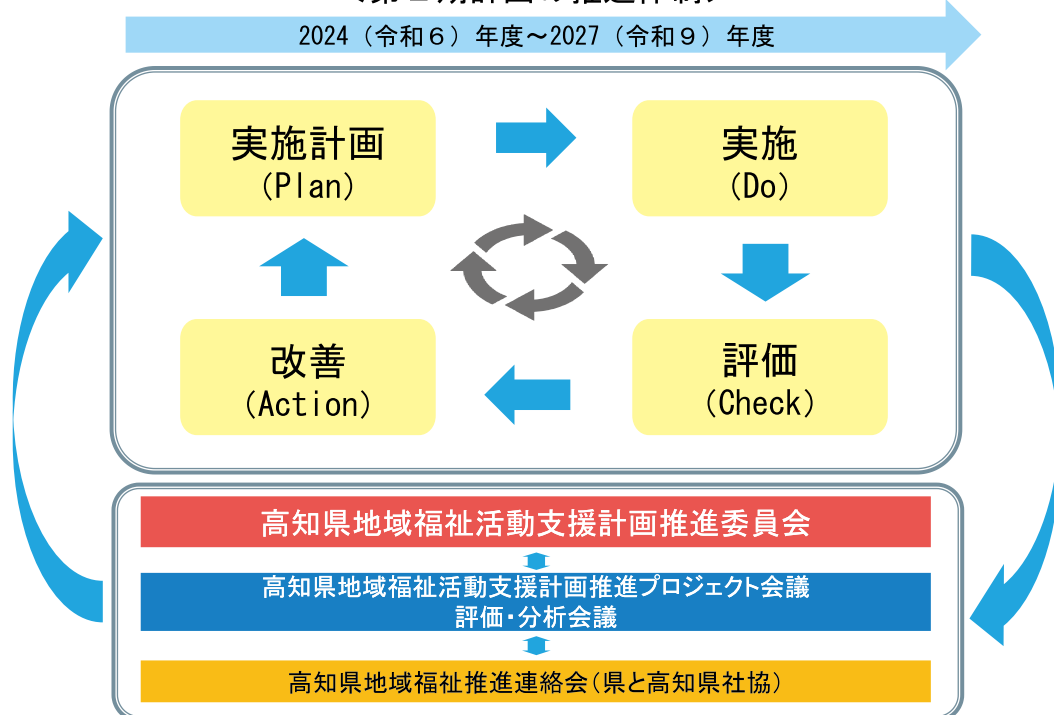


第2期計画の進行管理及び評価体制

本計画を推進するにあたっては、関係者への効果的な広報に努めるとともに、目標達成に向けて関係機関や団体などとの連携強化を図りながら、取組を進めていきます。

本計画の進行管理については、毎年、本計画に基づく実施計画の策定（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）のサイクル（PDCAサイクル）に基づき、適切に行っていきます。

<第2期計画の推進体制>



【発 行】

社会福祉法人高知県社会福祉協議会 〒780-8567 高知市朝倉戊 375-1

TEL 088-844-9019 E-mail plaza@pippikochi.or.jp

URL <https://www.kochiken-shakyo.or.jp>

